

様式第 4 号

議事録又は議事概要

会 議 名	美浦村社会教育委員会議兼公民館運営審議会
開 催 日 時	令和 2 年 1 月 2 8 日（火）午後 1 時 3 0 分
開 催 場 所	美浦村中央公民館 2 階 会議室
議 題	<p>(1) 政策提言</p> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化講座アンケート集計結果 ・美浦大学院・浦河町交流事業について <p>(3) 報告</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人定数・傍聴人数	傍聴人定数 6 名・傍聴人数 0 名
審 議 内 容	<p>◎は意見。Qは質問。Aは回答又は結論。</p> <p>(1) 政策提言</p> <p>◆事務局説明主旨</p> <p>教育長に提出する政策提言書（案）について前回ご協議いただいた提言書の様式及び要旨は変えていないが、より具体的な文言に修正したことについて審議ねがいます。</p> <p>Q. P 3 の「働いている人、子育て中の人等々、受講したくても受講できない課題を持つ方々が無理なく参加しやすい条件を整え、」の対応として、子どもの預かりを今後の課題として文言の中に入れてもよいのではないかと。</p> <p>Q. 実際に文化講座の生徒や先生で、子どもを預けて参加している方もいるので、いい案だと思う。</p> <p>◎そういうことでよろしく願います。</p> <p>Q. (5) の子育てに悩む家庭の相談窓口を村民に広く周知するということで、どこに相談してよいかわからないという声もあるので、今度新しく立ち上がる<u>子育て支援の包括センター</u>（名称不明）の周知を広く強力に進めていただきたい。</p> <p>Q. 交通手段を持たない方の対策が抜けているのではないかと。</p> <p>◎交通手段を持たない方の対策について文言を盛り込むということでもよろしいでしょうか。</p> <p>◎盛り込むことで了承。</p>

Q. 前例として悪用されないように文言を考えるべき。

◎審議会は今年度もう1回あるので、これらを取り入れていただいて再度審議したい。

A. ご指摘のあった点を加除修正し、次回に配布。

(2) その他

・文化講座アンケート集計結果

◆事務局説明主旨

アンケート回答数14件。文化講座に対する村民、特に若年層の関心の低さがうかがわれる。内容については村民の需要とかけ離れてはいないが、より村民のニーズに沿うよう努力していく必要がある。今回の結果を踏まえ、土・日・夜間の講座を主とした講師の募集や、役場の他部署で行う講座やイベントを引き継ぐ講座の開設等、講座生の獲得を目指した新たな試みが求められる。講師の事業形態に左右されるが、アンケートの結果をできる限り反映した文化講座を実施していきたい。

Q. 14人とは寂しい。

Q. アンケート中、就業時間の講座では参加できないとの声があるが、現在夜間講座はあるのか。

A. 以前（東日本大震災前）はあったが、現在は夜間講座を希望する講師自体がない。

Q. 地区の公民館なら気楽にいけるといふ人もいる。地区の活性化と併せて地区公民館での講座の実施や出前講座を活用してはどうか。

◎出前講座は区長会総会資料や回覧板を介して地域に回覧で周知しているが利用に至っていない。さらにPRしていただけて。夜の講座も考えていただければと思います。

14人でも少しは方向性は見えていると思う。

・美浦大学院について

◆担当課長説明主旨

美浦大学院の設置に当たり、美浦大学との違いについて設置及び運営要綱、募集要項を用いて説明。

現行60名のため視察の受け入れ先が限定されていた。大学院設置を機に定員を大学・大学院ともに30名とした。募集の要項はあったが、基本的な手続きの要綱がなかったこと及び大学と大学院を明確にするため要綱を作成した。学習の場を提供する美浦大学に対し、美浦大学院は一段上げて学習した成果を地域還元していくことを目的としているほか、カリキュラム内に院生による自主学習の機会を設けた。美浦大学の実施回数を減らし、併せて現行6,000円の学生の費用負担金を半額とした。美浦大学院も同額。美浦大学院の令和2年度における活動は、村内における団体の活動やボランティアについて知っていただくことを主眼にしている。

Q. 人数を分けたことは非常によいことだと考える。内容がよければ殺到する。募集人員は30名と明記しておけば対応がしやすいのではないか。

Q. 要綱中、入学者の決定方法に抽選とあるが、以前は抽選に多くの時間を要するため入学対象の優先基準に年齢を用いていた。再度抽選にする意味は何か？年齢順と明記すればよいのでは。

A. 事業を行うための原則的な要綱になります。（募集定員超過の場合は）最終的には抽選になることを想定しています。美浦大学では在籍年数が少ない方を優先しており、大学院についても募集の時点で優先順位について検討していきます。

Q. 今まで美浦大学の卒業生が修学の成果を目に見えて地域社会に還元した実績はあるか？

A. 個々の活動は把握していないが、「美浦大学生」としての実績は今のところない。

Q. 「総理する」「書類選考」等の文言について検討を。

◎要綱について、設置については了承。運営の部分について、文言や中身を見直し再度審議とします。

・浦河町交流事業について

◆事務局説明主旨

令和元年度からスタートしている事業。きっかけは美浦村の

ふるさと大使阿井英二郎氏が日本ハムファイターズのヘッドコーチをしていたつながりで北海道新聞と交流があり、北海道の浦河町は競走馬を多く産出している町で阿井氏の地元のJRAトレセンのある美浦村と交流してはどうかということから浦河町との交流が具体化し、そこに河内町が希望して合流したものです。

令和元年度は美浦中・河内中が北海道に行って交流し、2年度は浦河町の中学生がこちらに来るという計画です。

発足当時は美浦村人材育成協議会と企画財政課で実施したが、事業の目的から生涯学習課で2年度から主担当となって事業を運営していくこととなります。

◆教育長説明主旨

学校の先生は同行しない。生涯学習の青少年交流事業という形で、交互に訪れることを続けていければ。最終日には浦河の生徒とチームを組んでカーリングを行った。できれば青少年育成の皆さまにも参加していただくというところまで広げていければと。

◎令和2年度から生涯学習課で浦河町交流事業を行うということをお願いします。

(3) 報告

・令和2年度文化講座計画

◆事務局説明要旨

令和2年度文化講座の講師募集に15講座応募あり。4月受講生募集、5月開講を予定。夜間や親子の講座を実施できるよう講師に働きかけたい。

Q. まだ講師には了承をもらっていない段階であるか。

A. 講師には開講の内諾を得ているが、公運審で了承後正式に通知を発送する。

◎男性向けとか近年にないものがあるがよいのではないか。

この計画についてはこれでよろしくをお願いします。

・公民館管理運営規程の改正

◆事務局説明要旨

	<p>第2条に第2項を追加。</p> <p>大ホールにおいてチャリティと称して催し物をするケースがあり、営利のないことを確認するために収支報告書や寄付領収書の写しの提出を求めるために必要な事務手続きの根拠を制定したい。</p> <p>Q. 現実に営利目的であったことはあるのか。</p> <p>A. ありません。チャリティと称してカラオケ大会を催した経緯があり、チャリティであることを確認するための書類等の提出を求める。</p> <p>◎了承。</p>
<p>そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ浦湖畔ウォーキング ◆事務局説明要旨 今年度は2月15日に実施する。美浦村文化財センター発着の約10kmのコース。途中商工会青年部による湯茶のサービス、ゴール後安中ボランティアによるとん汁のサービスがある。現在30名の申込あり。最終的には60～70名の見込み。 ・陸平発掘調査140年記念企画展 ◆事務局説明要旨 1月25日から3月8日まで開催。東京大学から資料借入。現在本物を展示中。平成20年から全5回発掘調査した成果の報告を兼ねる。講演会を4回開催。期間中は祝日でも開館することとした。 ・大谷小学校第8回定期演奏会 ◆事務局説明要旨 大谷小PTAからチラシの配付希望があった。2月9日午後1時30分開演。 ・社会教育委員、公民館運営審議会委員の委嘱について ◆事務局説明要旨 この3月31日に任期が切れる。委員の皆さまにはぜひ引き続き委員を兼任で今後も携わっていただきたくお願い申し上げます。
<p>問 合 せ 先</p>	<p>美浦村教育委員会 生涯学習課 担当田崎 電話 029-885-4451</p>